

フォトコンテスト審査員

伊藤郁美 プロフィール

三股町餅原出身、都城市山田町在住。

39 歳

【経歴】

20 歳 スタジオゼロのカメラマンアシスタントになる。
グランドパティオ都城専属カメラマン。

27 歳～ スタジオ退社後、フォトグラファーとして独立。
鹿児島、都城を中心にブライダル撮影、学校アルバム撮影、
家族写真撮影などを専門とし、婚礼アルバムなどのデザイン制作も担う。

33 歳～ 三股町を中心にホールイベント、野外イベントなどの広報用撮影に移行。
三股町と連携をとり、ふるさと祭りの記録撮影、三股町社会福祉協議会が手掛ける
コミュニティデザインラボ掲載用撮影、冊子『オーバーラップ』撮影、
地域おこし協力隊企画『KOKOGANAGATA』の冊子撮影、
デザイン制作などを担う。

38 歳～ 市議、町議、県議用ポスター・リーフレット撮影、
病院、高校などのパンフレット撮影、諸県弁カレンダーの企画・撮影デザイン、
五本松事業関連の広報用撮影などを担う。

得意分野 人物撮影（特に女性、子ども）が得意。



M Mate 通信
M Mate 通信 エムメイト

思いが重なりあうその先に
人のぬくもりが伝わる写真を

「撮影した写真から、どこか懐かしさやぬくもりを感じて、ここに行ってみようかと思ってもらえたら」と微笑む郁美さん。このほど完成した長田地区の人たちの表情や暮らしぶりを記録した写真集で撮影と構成を担当、発刊を記念した写真展も各地区で開催され、多くの反響を呼んでいる。20歳から7年間、写真スタジオに勤め、結婚式場

クロスアップ
まちを支える人たち (12)

餅原出身 伊藤郁美 (35) さん

や学校行事の撮影で技術を学び、独学でアンクルや照明などの感性を磨いてきた。自分がイメージするものを追い求めるあまり、ときには依頼者の求めとずれ。が生じることもある。「大切なのは一歩引いて全体を俯瞰してみること。摩擦を怖がらず互いに対話を繰り返し磨き合うことで、人のぬくもりが伝わる作品につながる」と語る。依頼者の喜ぶ顔を力に変えて、幸せの瞬間を、これからも撮り続ける。

広報みまた
2019.5月号
Mメイト掲載